



新橋小学校

学校だより

令和5年1月31日
令和4年度 第10号

自分のがんばりを誇りに

副校長 清水 浩一

明日から2月、年度末に向けて各学年・クラスでは1年の総まとめをしていく時期です。そして、子どもたち一人一人が自分のよさや可能性を見いだす時でもあります。

子どもたちは、1年をふり返る中で、特に4月の頃と比べると成長した自分に気が付くのではないのでしょうか。学習で新しく知ったことやできるようになったこと、係や委員会や実行委員などでがんばったこと、友達の気持ちをよく考えられるようになったことなど、他にもたくさんあると思います。なかには注意されたこともあったかもしれません。しかし、注意されたことも直していけば立派な成長に繋がります。子どもたちには、いろいろなことをふり返る中で、素敵に成長した自分の心とじっくり向き合ってほしいと思っています。そして、自分の成長をふり返る過程で、がんばった自分や応援してくれた友達と共に、いつもそばで支えてくれた家族や地域の方々、指導してくれた先生方がいたことにも改めて気が付いてほしいと思います。

「啖啄同時」という言葉があります。ご承知のように、鳥の雛が卵から生まれ出ようと殻の中から卵の殻をつついて音をたてた時、その音を聞きつけた親鳥がすかさず外からついで啄んで殻を破る手助けをすることを意味します。

子どもたちには、自分たちもこのように多くの方々の愛情に包まれながら生活していることを感じ、安心して学校生活を送ってもらいたいと思っています。また、毎年、自分の成長を実感し、大いに胸を張り、がんばった自分に誇りをもって1年を締めくくってもらいたいとも思っています。

私たち教職員は、子どもたち一人一人がこの1年間でどう成長したかを把握するとともに、次の年度を見据えて期待することが何かを考えながら、子どもたちが目標を高くもって新しい年度を迎えることができるよう導いていきたいと思っています。そして、様々な教育活動をおこなう中で、子どもが興味・関心をもったり、やってみたいと思ったりした時に、そのタイミングを捉えて適切に指導・支援していくことで、子どものよさを引き出し、可能性を広げていけるようにもしていきたいと思っています。

これからも引き続き、新橋小学校の教育活動にご支援とご協力を賜り、子どもたちを見守っていただきますようお願い申し上げます。